



# 健康かわらばん 第104号 (令和6年11月号)

## 特集: 代表的な漢方製剤3 (胃腸・婦人科等)

### 1. 胃腸系の漢方薬

**半夏厚朴湯 (ハンゲコホクトウ) :** 気分がふさいで、のどから食道にかけての詰まり・違和感に有効です。咳も鎮める作用もあります。構成生薬は半夏・厚朴・茯苓・生姜・蘇葉です。



のどから食道の詰まり

**六君子湯 (リクンシトウ) :** 食欲不振、食後のもたれ・膨満感、嘔気



食後のもたれ、食欲不振、嘔気

**半夏瀉心湯 (ハンゲシャシトウ) :** 上腹部のつかえ、吐き気、腹鳴、下痢、口内炎に有効です。半夏・黄连・黄芩・乾姜・人参・大棗・甘草が含まれます。



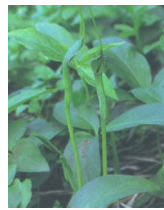
上腹部のつかえ、下痢、腹鳴

**桂枝加芍薬湯 (ケイシヤクヤクトウ) :** 下痢と便秘の繰り返し、腹痛・腹部膨満感に用います。桂枝・芍薬・大棗・生姜・甘草が含まれます。下痢はなく便秘のみの時には大黃を含む、桂枝加芍薬大黃湯を用います。



下痢・便秘の繰り返し、膨満感

半夏 (ハンゲ)



精神安定・鎮咳・去痰・抗嘔吐作用

人参 (ニンジシ)



抗疲労・抗ストレス・免疫力増強作用

大棗 (ナツメの実)



健胃作用・補気・鎮静

桂皮 (ケイヒ)



発汗・鎮痛・温補・健胃・精神安定

**小建中湯 (ショケンチュウトウ) :** 桂枝加芍薬湯に膠飴 (コイ=アメ) を加えた製剤で、主に腹痛・下痢の多い小児の体質改善に使用されます。成人でも虚証の人に有効です。

腹痛・下痢



**大建中湯 (ダイケンチュウトウ) :** 腹部膨満感・冷え・痛みの薬で外科手術後の癒着の症状に頻用されています。乾姜・人参・蜀椒・膠飴が含まれます。

腹部膨満



**真武湯 (シンブトウ) :** 冷え・体力低下が著しく、下痢・腹痛・めまい・だるさがある場合に使われます。附子・茯苓・白朮・芍薬・生姜が含まれます。

めまい・下痢



**大黃甘草湯 (ダイカカゾウトウ) :** 下剤に使われる漢方薬は多数ありますが、その代表で大黃と甘草のみから成ります。他の漢方の下剤でも大黃が主成分です。

便秘



**麻子仁丸 (マシニガン) :** 虚証・高齢者の兔糞状の便秘に用いられます。麻子仁・大黃・枳実・杏仁・厚朴・芍薬が含まれます。



生薑 (シヨウキョウ)



抗嘔吐・抗潰瘍・温補・発汗作用

芍薬 (シャクヤク)



抗ケルシ・鎮痛・血流改善作用

附子 (ブシ)



温補・徐冷・鎮痛

大黃 (ダイオウ)



通便・清熱・微小循環改善

## 2. 婦人科系の漢方薬

更年期障害、生理に関連した不調、瘀血（骨盤の微小循環不全）に以下の製剤が使用されます。

当帰芍薬散（トウキヤクサン）：虚証で貧血気味の冷え、頭痛、めまい等に有効です。生薬は当帰・芍薬・澤瀉・川芎・蒼朮・茯苓です。

桂枝茯苓丸（ケイジフクヨウガン）：中間証の肩こり、頭痛、のぼせ（冷え）、めまい、発汗、動悸等に有効です。生薬は桂皮・茯苓・芍薬・牡丹皮・桃仁です。

桃核承気湯（トウカジヨウキトウ）：実証でイライラ、のぼせ、便秘のある人の頭痛・肩こり・めまい・不眠等に有効です、生薬は桃仁・桂皮・大黄・甘草・芒硝です。

加味逍遥散（カシヨウヨウサン）：虚～中間証でイライラ、冷え・のぼせ、動悸、発汗、めまい、肩こり、不眠・不安等の多彩な症状が現れる人に有効です。生薬は柴胡・当帰・芍薬・牡丹皮・茯苓等です。

貧血・冷え・頭痛



のぼせ・肩こり等



イライラ・便秘



イライラ+多彩な症状



当帰（トウキ）



補血・徐冷・血行促進作用

茯苓（ブクリョウ）



利水・健胃・精神安定作用

桃仁（桃の種）（トウニン）



小循環改善・微通便作用

柴胡（サイコ）



抗炎症・免疫調節・意欲亢進作用

## 3. 神経症的症状の漢方薬

抑肝散（ヨカガン）：中間証から虚証気味のいわゆる「疝の虫」の薬で興奮、イライラ、怒りやすい、不眠等に有効で、最近では認知症にも用いられます。釣藤鈎、柴胡、甘草、当帰・茯苓・川芎・蒼朮が含まれます。

柴胡加竜骨牡蛎湯（サイコカリョウボウレイトウ）：実証で不安、不眠、イライラ、頭痛・肩こり・動悸の有る人の薬です。柴胡、黄芩、竜骨・牡蛎・半夏・人参・桂枝・茯苓・大棗・生姜が含まれます。

加味帰脾湯（カキキトウ）：虚証の人の抑うつ、不眠、不安、倦怠感、イライラに用いられます。黄耆・人参・酸棗仁・当帰・白朮・茯苓・甘草等多数の生薬からなります。

酸棗仁湯（サウジントウ）：虚証で神経過敏が有り、疲れが貯まっているのかえって眠れない人に有効です。酸棗仁・茯苓・川芎・知母・甘草が含まれます。



興奮・イライラ・怒りやすい



動悸・イライラ・不安・不眠



抑うつ・不眠・不安



神経過敏・不眠

釣藤鈎（チョウトウコウ）



清熱・抗ケイソウ・抗頭痛・めまい

牡蛎（ボレイ）



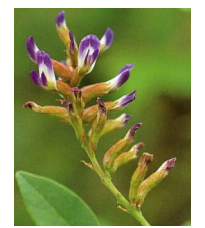
精神安定作用

酸棗仁（サンソウニン）



精神安定・強壯・止汗作用

甘草（カンゾウ）



諸薬の緩和・鎮痙・抗炎症等

**あとがき**

今回は今までの漢方薬の解説で残っていた、胃腸系・婦人科系・神経系の製剤を取り上げました。各製剤の効能は大幅に重複しておりますが、個人の体質や付随した症状を勘案して製剤を選びます。最初の処方が無効な場合には、本人の体質から見直すこととなります。限られたスペースですが、製剤を構成している生薬の解説も加えました。生薬は複数組み合わせることでより作用が増強したり、新たな作用を生み出すことがあります。その経験から現在の製剤が成り立っています。説明不足の所を付け加えますと、生姜と乾姜はいずれも「ショウガ」ですが、生姜はそのまま乾燥させ、乾姜は蒸した後に乾燥させた物です。竜骨は哺乳動物の化石化した骨で、牡蛎はカキ殻です。この他、種々の痛みや皮膚科疾患等にも色々な漢方薬が用いられます。